

衆議院議員候補 千葉県第1区(中央区・稲毛区・美浜区)
立憲民主党公認 連合千葉推薦

政権交代
暮らしを救う道

たじま要 かなめ

世襲も裏金もない政治



PROFILE たじま要

- 1961年 9月22日生まれ
- 1985年 東京大学法学部卒業
 - NTT、世界銀行グループ国際金融公社(IFC)、フィリピン通信事業会社などを経験。米国ペンシルベニア大学ウォートンスクールにてMBA取得
- 2003年 民主党公募候補として衆議院選挙初当選
- 2010年 経済産業大臣政務官に就任
- 2011年 原子力災害現地対策本部長として福島県に駐在
- 2016年 議員立法として再犯防止法、自転車活用推進法、特別養子縁組促進法の成立を実現
- 2020年 立憲民主党結党に参画。科技特委員長、総務委員、党環境エネルギー調査会長
- 2021年 7期目の当選
- 2024年 経済産業委員会/原子力問題調査特別委員会
次の野田内閣の経済産業大臣を拝命

家族

千葉県稲毛区に在住。家族は妻、子ども3人、犬1匹

趣味

畑、自転車、旅行、音楽、読書

好きな言葉

足るを知る(知足)、一日一生

たじま選挙事務所

千葉市中央区新宿 2-1-5 (アサヒボウリングセンター1階裏側)
TEL.043-306-5977 FAX.043-306-5978

頒布責任者/宮崎浩二 千葉市中央区富士見2-9-28 第1山崎ビル6階
印刷者/株式会社リンク企画 千葉市中央区中央4-12-12-206

ネットでも
情報発信
しています!



公式ウェブサイト
<https://www.k-tajima.net>



比例区も
立憲民主党に



日本の**4つのシフト**で、たじま要は今後、特に環境、健康、観光、教育、研究開発と言う、日本の未来を拓く5K分野に積極的に投資を促し、日本の強みと持ち味とを最大限に活かすことで、持続可能な成熟経済の実現が可能だと考えます。そして、人づくり中心の政策を飛躍的に強化し、他の先進国では当たり前の、一人ひとりの所得と、一人ひとりへの教育投資とを着実に増やし、活力あふれる、心豊かな社会の構築を目指して参ります。



衆議院議員候補 千葉県第1区(中央区・稲毛区・美浜区) たじま 要

4つのシフトで 一人ひとりの所得と、一人ひとりへの教育投資とを増やし、 活力あふれる心豊かな社会の構築を

ヒューマンシフト HUMAN SHIFT

人に大切に、
人に投資し、
人づくりを
最重視する日本

これまで我が国の政治が後回しにする傾向の強かった、子ども・子育てや介護、そして人づくり全般への予算配分や投資、制度的な拡充を他の先進国並みに強化し、全世代の暮らしの安心感を高め、同時に、世界有数の教育立国日本を実現します。また、小・中・高校・大学を通じて節目での主権者教育を強化し、被選挙権も選挙権と同様に18歳以上に引き下げ、若い人の政治の積極的な参加を推進します。

グリーンシフト GREEN SHIFT

市民参加・地域主導で、
「自然エネルギー立国」
を実現する日本

再エネや省エネ、蓄電池、水素、レアアース開発など、技術革新の社会実装をエネルギー・環境分野などで加速推進します。わが国のアキレス腱である20兆円以上の資源の海外依存を減らし、その分地域で経済を循環させ、中小・小規模企業の事業機会や、人々の雇用と所得を増やします。分散型エネルギーとともに持続可能な第一次産業の復権も果たしていきます。

アジアシフト ASIA SHIFT

アジア諸国と
補い合いながら、
新たな豊かさ
と安心をつくる日本

人口減少下での新たな豊かさや安心づくりのために、人口が増え続けるアジア全域の人々の幸せに貢献できる、わが国の文化・伝統と科学技術に根ざしたモノやサービス、そして人づくりをアジアに広げていきます。自然エネルギーや有機農業、iPS細胞や重粒子線のような先進医療技術などを重視。人的交流の増加は、将来の産業力と地域安全保障の土台作りと位置づけます。

デジタルシフト DIGITAL SHIFT

防災・減災を含め
デジタルを活用して
課題解決に挑む日本

AI社会を視野に入れ、政府と民間とが力を合わせ、次世代人材へのデジタル教育と現役世代へのリカレント教育を強化し、環境・エネルギーや医療・介護分野、第一次産業や観光などあらゆる分野にデジタル化とIT技術の導入を推進します。今回の能登半島地震や集中豪雨の災害時に、お一人でも多くの命を救うため、最重要インフラとして情報通信ネットワークへの強靱化投資の拡大を推進します。



国会見学の小学6年生との対話会にて全力投球



千葉1区内の約20か所の駅前から、この20年間、朝の駅頭活動を時間の許す限り続けています。



ソウルで開かれた日米韓戦略会議で、米国下院議員のオカシオ・コルテス氏と。

政権交代 暮らしを救う道 世襲も裏金もない政治

早くも石破首相は国会議論についての「有言不実行」で国民を欺いてしまいました。はっきりした事は、自民党政権には裏金問題の根本解決は、絶対に、できないということです。世襲問題と合わせて最終決着をつけるためにも、1日も早く政権交代を実現しなければなりません。

そして、安倍政権以来の間違った国づくりにピリオドを打ち、この国の衰退を止め、全ての人々が幸せを実感できる国にしていかなければなりません。一步一步、国民の皆様の信頼を勝ち取り、遠くない将来日本の舵取りを担うことができるよう、引き続き全力で精進を続けて参ります。

田嶋 幸